

各地で広がる食品リサイクルループ

ユニーは店舗を営業している各地域で食品リサイクルループを構築し、循環の環を継続していくことを目標にしています。食品リサイクルループは、未利用食品を再生利用するだけでなく、消費者と農業生産者を結び、地産地消を実現する有効な手段でもあります。トレーサビリティも明確であり食の安全・安心にもつながります。さらに、食品リサイクル法の「再生利用事業計画」の認定を受けることによりリサイクルループの有効性と継続性を高めています。現在、店舗所在地の1府18県で15件のリサイクルループを構築しています（原発事故影響による福島県を除く）。



食品リサイクル普及に向けての取り組み

青果部はユニーの食品残さで作った堆肥で育てた野菜を販売しています。エコ野菜の取り組みは全国でもトップクラスの実績です。愛知県のリサイクルループでは、当初年間3,000万円の売り上げが、8年たった今では年間8,500万円に達しています。今後は愛知県だけではなく全国の各エリアでの展開も視野に入れています。



食品本部青果部
部長 河上 剛

農業体験と生産者との交流

食品リサイクルループで生産された作物の収穫体験とその生産者との交流会を定期的に行っています。消費者には、田畑の土に触れて、収穫の喜びと食べ物の大切さを実感してもらうほか、安全・安心な農産物作りにかかる生産者の努力を知っていただくことができました。



農業体験と生産者との交流

JAあいち海部 エコ部会

食品リサイクルループに当初から協力していた地産地消型農業を実践しているJAあいち海部エコ部会では、毎年総会を開催し前年度の総括と次年度の計画を承認しています。エコ部会役員、仲卸業者、ユニー青果部で定期的に会合をもち、互いの意見のすりあわせを行い、リサイクルループの継続的發展を図っています。



JAあいち海部 エコ部会総会